

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究機関では匿名化された情報を取り扱うため、不明なことが多いと思いますが、真摯に対応させていただきます。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承ください。

HLA 遺伝子の多型・発現情報と移植成績や GVL 効果誘導との関連解析

1. 研究の対象

1993 年 3 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日までの間に、日本骨髄バンクを介して非血縁者間造血細胞移植を受けられた方および移植ドナーとして末梢血や骨髄などの造血細胞を提供された方

2. 研究実施期間

機関の長の許可日 から 2029 年 12 月 31 日 まで

20, 3. 8

3. 研究目的・方法

目的：この研究では、骨髄移植成績を向上させるために、非血縁者間骨髄移植ドナー患者ペアにおけるヒト白血球抗原（HLA）遺伝子の多型解析、それら遺伝子近傍のゲノム領域における多型解析や遺伝子発現解析を実施し、ドナーと患者間の相違や移植片対宿主病（GVHD）、生着率、再発、移植後合併症などの移植成績との関連性、移植成績と関連しうる遺伝要因を明らかにすることを行います。

方法：この研究に使用する情報のうち、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除されており、本研究に必要な臨床情報（項目 4 に記載）のみを使用させていただきます。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・移植を受けられた方

末梢単核球細胞、年齢、性別、血液型、HLA 型、疾患、病期、GVHD 予防法、前処置、合併症、移植成績等

・造血細胞を提供された方

末梢単核球細胞、年齢、性別、血液型、HLA 型等

5. 研究組織

提供元で解析した多型解析情報や遺伝子発現情報を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

主な提供方法：電磁的配信

共同研究機関および研究責任者名：中部さい帯血バンク 森島 聡子

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部（電話：代表 0463-93-1121 内線：2586）

研究責任者 医学科基礎医学系分子生命科学 椎名 隆

問い合わせ担当者 医学科基礎医学系分子生命科学 椎名 隆